

質疑回答書

令和元年5月16日

入札参加者 様

裾野市長泉町衛生施設組合
管理者 裾野市長 高村謙二

入札番号 第1号
工事名 裾野市長泉町衛生施設組合新火葬施設 建築工事

| 番号 | 図面番号 | 設計書(No.) | 質疑事項 | 回答事項 |
|----|------------|-------------------------|--|---|
| 1 | | 建築111 | 金抜き内訳書 B 外構工事 9 電気設備外構工事、10 外構散水栓工事の詳細内訳書はございますか？ (散水栓と散水栓ボックスの仕様、メーカー名および品番等のご提示をお願いします。散水栓用の埋設配管の埋め込み深さと仕様のご提示をお願いします。) | 詳細内訳書について別紙資料※をご確認をお願いします。 (埋設深さは管上端で400mm、配管材料は水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VD) 20Aとしてください。) ※「別紙-1【内訳書】電気設備外構工事_外構散水栓工事」 |
| 2 | A-4 | | 内装工事 不燃メラミン化粧板 厚6mmとなっていますが、厚6mmの製品がないので、アイカセラル厚3mmで見積もって宜しいでしょうか。 | 宜しいです。 |
| 3 | A-7 A-8 | | 内装工事 壁グラスウール厚90mmとありますが、厚100mmで宜しいでしょうか。 | 宜しいです。 |
| 4 | S-14~17 | | 地業工事 深層混合改良エココラム工法、浅層混合改良スーパーラップル工法となっていますが、他(他メーカー)の混合改良工法でも宜しいでしょうか。 | 建築技術性能証明取得工法であること、また、基礎フーチング下許容接地圧300kN/m ² が確保できる工法であれば、宜しいです。 |
| 5 | L-24 | 建築310 建築311 建築312 | 外構工事 L-24の図面階段部が御影石貼りになっていますが、数量内訳書には石張り階段の項目が御座いません。石張り階段として新たに項目・数量を見積もりに明記しますか。 | L-24の階段は内訳書建築No.310~312の階段①が該当します。また、内訳書の当該項目に記載の手摺は亜鉛メッキ仕上げの上SOP塗りとして下さい。 |
| 6 | 特-11 | | 外構工事 ネットフェンスは 特-11で樹脂塗装メッシュフェンスとなっていますが、メーカー及び仕様を指定して下さい。 | L-19「設備施設フェンス」を参照下さい。 朝日エバーフェンス Wメッシュ同等品として下さい。 |
| 7 | | 建築114 (外構工事の4ページ目) | 設計書建築No4の歩道舗装は、基礎コンクリートを含んだ設計単価でしょうか。 | 基礎コンクリートは含んでおりません。本体躯体として別項目に含めて算出しています。 |

| 番号 | 図面番号 | 設計書(No.) | 質疑事項 | 回答事項 |
|----|------|------------------------|--|--|
| 8 | | 建築115 (外構工事の5ページ目) | 設計書建築No5の白線引きライン幅W400・500・317について規格はございますか。 | 特-12、22章、9路面標示用塗料を参照下さい。3種1号、熔融施工、紛体状、白色です。 |
| 9 | L-19 | 建築120 (外構工事の10ページ目) | 設計書建築No10の土留壁の構造図について、設計図面L-19の土留壁でよろしいでしょうか。 | 宜しいです。 |
| 10 | L-32 | 建築123 (外構工事の13ページ目) | 設計書建築No13の0号人孔φ750*H600・H680について、深さが浅く組立が不可能と思われませんがどのようにしたらよろしいでしょうか。 | 角枅（内径600×600）とし、蓋は鋳鉄製φ600としても良いです。 |
| 11 | L-33 | 建築127 (外構工事の17ページ目) | 設計書建築No17の街渠枅（L-500用）の高さは設計書図面L-33街渠枅道路側天端から管底までの高さでよろしいでしょうか。 | 宜しいです。 |
| 12 | L-46 | 建築130 (外構工事の20ページ目) | 設計書建築No20の道路側溝改修において、図面では嵩上げ用になっていますが受桝共改修でよろしいでしょうか。 | 宜しいです。 |
| 13 | | 建築138 (外構工事の28ページ目) | 設計書建築No28のゴミ庫の詳細図面はございますか。 | A-64雑詳細図4のD-23を参照下さい。 |
| 14 | | 建築138 (外構工事の28ページ目) | 設計書建築No28の浄化槽には浄化槽本体は含まれるのでしょうか。 | 浄化槽本体は機械設備工事に含まれ、建築工事には含まれません。なお、浄化槽コンクリート・基礎部は建築工事に含まれます。 |
| 15 | | 建築120 (外構工事の10ページ目) | 設計書建築No10のスロープ園路擁壁について、水抜パイプの施工は含まれるのでしょうか。 | 塩ビ製水抜きパイプ75φ 3㎡に1か所を見込んで下さい。 |
| 16 | L-52 | 建築142 (外構工事の32ページ目) | 設計書建築No32の発生材は無筋コンクリートのみですが、設計図面L-52の撤去図の有筋構造物も含まれますか。 | 含まれます。 |
| 17 | | | 監督員詰所は現場事務所に併設が可能と考えてよろしいでしょうか。 | 宜しいです。 |
| 18 | | | 監督員詰所は工事スケジュールにより移動が発生しない箇所に設置できると考えてよろしいでしょうか。 | 設置位置は施工者の発案とし、仮設計画図で監督者が承認するものとします。 |

| 番号 | 図面番号 | 設計書(No.) | 質疑事項 | 回答事項 |
|----|--------------|----------|--|---|
| 19 | L-04 | 建築145 | <p>工事工程700-図(1) <L-04図>におきまして、横断土木切土V=1500.00m³及び調整池掘削切土V=1000.00m³範囲の仮囲い(全周) L=388.0mに加え敷地東側に簡易バリケードフェンスの記載が御座います。設計書No. 145では388.0mは全て万能鋼板H3000となっておりますので工事工程700-図(1) <L-04図>の敷地東側に簡易バリケードフェンスは不要と致しますが宜しいですか。ご指示下さい。</p> | <p>L-04図を正とします。設計書No.145の万能鋼板H3000は簡易バリケードフェンスと読み替えて下さい。敷地東側の簡易バリケードフェンスも見込んで下さい。</p> |
| 20 | 特-05 | | <p>2章仮設工事1. 足場その他におきまして、工事で設置する足場については、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。と御座いますが、(1)手すり先送り方式に読み替えても宜しいですか。ご指示下さい。</p> | <p>図面に記載の通り、2の(2)手すり据置き方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこととします。</p> |
| 21 | 特-05 L-04 | | <p>2章仮設工事 2. 監督員事務所の設置期間につきまして、工事工程700-図(1)の700-②~③の1ヵ月前まで<2019. 10. 初旬~2020. 12. 末日>と考えますが宜しいですか。ご指示下さい。</p> | <p>監督事務所の設置期間は2019年7月初旬~2021年2月末日までとし、2021年6月初旬~9月末日までは、現場事務所と併用可とし、工事開始後に協議するものとします。</p> |
| 22 | L-04~06 | 建築139 | <p>2工区(既存建物側)のアスファルト舗装につきまして、工事工程700-図(1)(2)では、700-②で仮舗装A=2381.8m²を施工700-⑤で緑地となる範囲のみ撤去A=1143m²とありA=1238.8m²は本設使用として計画しているように思われますが、L-06図(外構施設計画図(1)舗装では、仮舗装を全て撤去後、本設施工(仮舗装と舗装構成異なる)と相違しております。仮舗装を本設使用とする場合、排水勾配、各所取合いにおいて出来栄えの上で困難と思われます。仮舗装を全て撤去後、本設仕様にて施工と考えますが宜しいですか。またその場合、設計書P139より、上記A=1238.8m²の仮舗装撤去分が不足します。今回の御見積りに含みますが宜しいですか。合わせてご指示下さい。</p> | <p>当該仮舗装部は全て撤去の後、本設施工を行うこととします。A=1238.8m²の仮舗装撤去分を見込んで下さい。</p> |
| 23 | A-48 A-50 | | <p>鋼製軽量扉(LD-12)の箇所数につきまして、建具案内図では×5ヶ所、建具表1では×2ヶ所と相違します。建具案内図の作業員休憩室の3ヶ所を建具表1の通りLD-17と読み替えますが宜しいですか。またその場合、建具表1の廊下3を廊下5DSとしますが宜しいですか。合わせてご指示下さい。</p> | <p>宜しいです。</p> |

| 番号 | 図面番号 | 設計書(No.) | 質疑事項 | 回答事項 |
|----|--------------|----------|--|---|
| 24 | A-28 | 建築56 | 炉室設備架台（H-100×100×6×8 L1700床埋込）のヶ所数につきまして、1階平面詳細図（A-28図）では5ヶ所と思われませんが10ヶ所の記載が御座います。図面を正とし5ヶ所としますが宜しいですか。ご指示下さい。 | 宜しいです。 |
| 25 | | 建築55 | 設計書P55に炉室開口塞ぎプレートが御座いますが、開口位置、プレート詳細が不明です。ご指示下さい。 | 開口位置、寸法、仕様（St 1. 6）はA-22を参照下さい。 |
| 26 | 特-07 A-4 | | 屋上床断熱アスファルト防水におきまして、断熱材の厚さが特-07（建築工事特記仕様書3）では厚80、A-04（仕上表2）では厚60と相違します。どちらを正と致しますか。ご指示下さい。 | 厚60を正とします。 |
| 27 | A-4 | | 石工事につきまして、下記各所の石種をご指示下さい。 ・花崗岩A ・花崗岩B ・花崗岩C ・花崗岩 エントランスホール壁化粧ポーター ・花崗岩 歩道舗装① | すべて中国産御影石 ライトグレー色程度として下さい。 |
| 28 | S-31 | | 柱主筋柱頭定着長さ要領図に於いて、大梁の図にハチとして記載が有りますが、大梁リストにハチの表示は有りません。リスト通りと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 | S-31大梁リストのG1Hは備考にハンチ長さを記載していますのでリスト通りで宜しいです。 |
| 29 | S-31 | | 柱主筋柱頭定着長さ要領図に於いて、柱筋柱頭定着長さとして記載が有りますが、D25 L=720は、FC24 L2の場合L=875と思われます。柱頭にかゝ筋等の補強筋が必要な場合、配筋方法をご指示下さい。 | S-02「柱主筋の継手及び定着 1. 柱主筋の継手及び定着」で「*柱頭定着L2が確保できない場合は、構造計算等により必要長さの確認を行うものとする。」より、定着長さは構造計算で確認済みなので、柱筋柱頭定着長さはL=720として下さい。 |
| 30 | S-20 S-28 | | 2階伏図 Y9通X6通～X10通間の梁天端がFL-400と記載が有りますが軸組図より梁天端はFL-1300と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 | 宜しいです。 |
| 31 | S-20 S-28 | | 2階、R階同様として、水勾配の納まりに於いて、軸組図の各階の梁天端に勾配レベルの表記があります。梁天端と勾配スラブの天端は揃っていると考えると、梁天端に増打は不要と考えると宜しいでしょうか。ご指示下さい。 | 宜しいです。 |
| 32 | S-36 S-19 | | S-36図 土間(DC1)コンクリート配筋図に於いて、Y0通の詳細ですが伏図ではCS1の配置と異なります。伏図を正と考えると宜しいでしょうか。ご指示下さい。 | 宜しいです。 |

| 番号 | 図面番号 | 設計書(No.) | 質疑事項 | 回答事項 |
|----|--------------|--------------|---|--|
| 33 | S-36 S-19 | | S-36図 土間(DC1)コンクリート配筋図に於いて、Y0通に土間受の「ゴ」の詳細が有ります。施工範囲をご指示下さい。(建物廻りはアスファルト舗装と思われます。) | 上記質問番号32により不要になりましたので中止とします。 |
| 34 | A-16 | | 配管ピットの上裏断熱材に於いて、断熱材t25打込が平面(スラブ下)と小梁等の側面と底面と思われますが、A-16図等の基礎大梁の側面に二本線(断熱材の様)の記載があります。断熱材は基礎大梁の側面は外部、内部共に不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 | 宜しいです。 |
| 35 | S-06 | | 梁貫通孔補強に於いて、3, 5在来工法による梁貫通孔補強リストに1階(基礎階)と2階(大梁に2ヶ所のみ)に記載が有ります。その他に必要な設備スリーブの径及び箇所数及び補強方法をご指示下さい。 | その他に必要なものはありません。 |
| 36 | S-06 A-12 | | 3, 5在来工法による梁貫通孔補強リストにφ600が49ヶ所記載が有ります。A-12図ピット平面図の人通口φ600は51ヶ所配置が有ります。S-06図のφ600は人通口とは異なる梁貫通孔と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 | 人通口の箇所数は51箇所を正として下さい。(A-12と整合) S-06のFG1が16個となっておりますが、18個が正です。また、A-12の人通口とS-06梁貫通孔補強リストのφ600は同じ意味です。 |
| 37 | S-06 A-12 | | 人通口φ600と通気口φ100と通水口φ200の補強方法は、在来工法のH形配筋を参照と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 | 設計図面に記載されている通水口はφ150です。人通口φ600と通気口φ100と通水口φ150の半割の補強方法は、在来工法のH形配筋を参照と考えて宜しいです。 |
| 38 | L-04 | | 土工事 根伐開始レベルにつきまして、工事工程表(1) <L-04図>に記載のありますFH=329.00(根切床付高)として宜しいですか。(梁成の小さい地中小梁(FG-2・2A・12)下端レベルを基準として1工区の施工ヤード造成を行うと考えます。(現況の平均レベルと同程度))ご指示下さい。 | 土工事 根伐開始レベルはFH=327.84(1FL-2160mm)とします。 内訳書の数量は1FL-2160mmとして算出しております。 図面(L-04, L-38)の表記は上記のとおり読み替えて下さい。 |
| 39 | L-38 | 建築6 建築112 | 上記質疑に関連致しますが、造成計画平面図<L-38図>及び設計内訳書数量<設計書P112>では、「建物根切床付けはFH=330.0より-2.0mとした。」と記載があり上記質疑と相違致します。設計書P6(土工事)及び設計書P112(B外構工事 1.造成工事)数量はこれに準じている為、上記質疑が正の場合設計数量が異なります。どの様に考えれば宜しいでしょうか。ご指示下さい。 | 上記質疑回答38番の回答の通り。 |

| 番号 | 図面 番号 | 設計書 (No.) | 質 疑 事 項 | 回 答 事 項 |
|----|------------------------------|----------------|--|--|
| 40 | L-22 L-42 | | スロープ 部分拡大詳細図<L-22>と擁壁計画平面図<L-42図>におきまして、L型擁壁②とエントランス擁壁の範囲が重複しているように見られます。L型擁壁②は不要としエントランス擁壁のみ御見積り致しますが宜しいですか。L型擁壁②が必要な場合、範囲及び構造図をご指示下さい。 | 宜しいです。 L型擁壁②はエントランス擁壁を示すものとし、エントランス擁壁のみの見積もりとして下さい。 |
| 41 | L-22 L-23 L-25 L-42 | 建築145 建築146 | 囲障工事におきまして、下記の範囲が不明です。 ・スロープ 園路擁壁 ・土留壁 ・車止め擁壁 範囲の記載のある平面計画図等をご提示お願い致します。 | 下記図面を参照下さい。 ・スロープ 園路擁壁：L-22、L-25 ・土留壁：L-42(南東側門扉近く) ・車止め擁壁L-23 (図面上部) |
| 42 | L-24 | | 外構雑詳細図-2におきまして、階段袖壁断面図より袖壁の仕上げが不明です。ご指示下さい。 | コンクリート打放し(塗装型枠 クリアー塗装)とします。 |
| 43 | L-24 | 建築135 | 階段縦断面図より、袖壁天端の手摺仕様が亜鉛メッキ仕上げ+リン酸処理となっておりますが、設計書No. 135ではSOP塗と相違します。どちらを正と致しますか。ご指示下さい。 | 亜鉛メッキ仕上げの上SOP塗りとして下さい。 |
| 44 | L-21 | 建築135 | 職員駐車場階段詳細図より、階段手摺仕様が亜鉛メッキ仕上げ+リン酸処理となっておりますが、設計書No. 135ではSOP塗と相違します。どちらを正と致しますか。ご指示下さい。 | 亜鉛メッキ仕上げの上SOP塗りとして下さい。 |
| 45 | L-21 | | 職員駐車場階段詳細図より、階段の仕上げが不明です。コンクリート直均し仕上げとして宜しいですか。ご指示下さい。 | 宜しいです。 |
| 46 | | 建築135 | 設計書No. 135に南西側スロープ 手摺が御座いますが範囲が不明です。手摺詳細図も合わせてご指示下さい。 | A-02配置図(南西側門扉近く)、A-63(D-61)を参照下さい。 |
| 47 | L-51 | 建築141 | 設計書No. 141 (B. 外構工事 8. 撤去工事) に給水管切回し撤去及び給水管切回し復旧が御座いますが詳細が不明です。設備工事と考え別途工事として宜しいですか。 建築工事とする場合は詳細をご指示下さい。 | 給水管切回し撤去及び復旧は建築工事とします。また、復旧後の給水管は、現裾野市斎場解体後に、建築工事で撤去して下さい。 詳細は別紙資料※をご確認下さい。 ※別紙-2【修正図】L-51撤去図(1) |